

令和4年6月14日
九州中学校体育連盟

令和4年度九州中学校体育大会 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、下記ガイドライン等を踏まえて作成している。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることにご留意いただきたい。

- ・「学校の新しい生活様式」〈文部科学省〉
- ・社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン〈スポーツ庁〉
- ・スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン〈日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会〉
- ・内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報等
- ・令和4年度（公財）日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン〈(公財) 日本中学校体育連盟〉

1 大会実施に当たっての基本的な考え方

大会の実施に当たっては、上記ガイドライン等を参考に、九州中学校体育大会実施に当たっての基本的な考え方に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策を講じることとする。

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染予防の3つの基本（身体的距離の確保・マスクの着用・手洗い等の徹底）
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

2 大会実施時の感染予防策について

(1) 感染源を絶つ

- ① 実行委員会は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等を、大会に参加させないことを徹底する。
- ② 実行委員会は、各校の選手や引率者等の2週間分の体調を記録した体調記録表（別紙1）の記録を求め、健康管理を徹底する。
- ③ 実行委員会は、大会当日受付時に、学校同行者大会当日体調記録表（別紙2）を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- ④ 実行委員会は、学校同行者大会当日体調記録表（別紙2）に記載された者以外の来場者に対し、来場者体調記録表（別紙3）を提出するとともに、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。
- ⑤ 引率者等は、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- ⑥ 実行委員会及び引率者等は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

(2) 感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保

ア 原則開会式等は実施しない。

イ 実行委員会は、監督会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置等を工夫する。

ウ 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。

エ 実行委員会及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

② マスクの着用

ア 実行委員会は選手、引率者等及び大会関係者にマスクを準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスクを着用し、咳エチケットを徹底するよう指示する。

イ 実行委員会は、活動中や気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すように指導する。

ウ 引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

③ 手洗い等の徹底

ア 実行委員会は、選手、引率者等及び大会関係者がこまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を配置するとともに、場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。

イ 実行委員会は、参加者に手洗い後に手を拭くためのマイタオル等を持参するよう周知徹底する。

ウ 引率者は、大会期間中、こまめに流水と石けんを手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避

①大会会場への入場は、登録された選手・登録外の3年生、引率者等及び大会関係者、応援者（選手1名につき応援者2名）を原則とし、その他については関係機関と連携し、開催県の感染状況、利用する会場や施設の状況を見ながら開催県実行委員会において判断する。

※開催県の感染状況・施設の状況によっては無観客とする場合もある。

②引率者等は、移動の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気をしたり、乗車人数を減らすなどの工夫をする。

③実行委員会は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

④実行委員会は屋内で実施する競技において、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。

⑤実行委員会及び引率者等は、大会会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面をさげ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

①試合に関わる全ての者（選手、引率者等、大会役員、審判）は、大会開始2週間前からの行動を、行動履歴書（別紙4）に記録する。

※行動履歴書（別紙4）は大会終了後1か月間は各自で保管する。

②実行委員会は、参加校に対して大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。参加校は、大会に参加する引率者等や選手及び応援者等に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、参加同意書（別紙5）を提出させる。

③大会会場へ入場する応援者については、応援者大会当日体調記録表（別紙6）を記録の上、来場ごとに実行委員会に提出する。

④選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率者等や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。

⑤実行委員会は、大会会場施設と感染拡大予防対策について、事前に施設と打ち合わせを行う。

⑥実行委員会及び引率者等は、各競技特性に応じた、適切な感染拡大予防対策を講じる。

3 その他

九州中学校体育大会は、本ガイドラインに則り、感染拡大予防対策を行います。参加校や応援者を含む来場するすべての方々についても、本ガイドラインを遵守し、感染拡大予防対策を徹底していただくことをお願いする。